

自分のやりたいことを見つける

校長 浅野竜也

あけましておめでとうございます。2026年が始まりました。

年の区切り方には大晦日、元旦に区切る「年」と4月から始まる「年度」があります。4月に立てた目標もあるなかですが、干支の「うま」年らしく年度末を目指し「目標に向けて疾走できる年」にしていきたいと思います。

<探究的な学習>

本校は、特色のひとつとして、今年度から新たに全学年に「探究的な学習」を取り入れています。この学習では、全児童が自分の手でものにさわって、目標に向けて試行錯誤する活動を通して、達成感を味わい、それが将来の趣味や仕事に何か関係してくれればいいなと考えています。

昨年の11月から12月にかけて2、3、4年生は高専の先生を招き、動くロボットや風力発電を試行錯誤しながら作りました。5・6年生については、ドローンを用いたプログラミング学習（PTA主催事業）を2校時かけて行いました。日本に数台しかない災害現場で活躍する犬型ロボットの動きをじかに見たり、体育館で、児童がプログラミングしたドローンで、設定されたコースを運行させる活動を行ったりしました。最後は全校児童で、光と音のドローンショーを参観しました。テレビで見るようなショーを間近で見ることができ、どの学年の児童も歓声を上げて喜んでいました。

どの学年の学習もそうでしたが、興味のわいたことについて、自分でこうしてみようと考えたときの集中力と目の輝きは素晴らしく、時間がある限り工夫し試す姿は、生き生きとしていて、見ている私たちもうれしくなりました。やりたいことは大きく人を成長させます。そんな機会を、学校でもご家庭でも増やしていきたいと思っています。



5・6年生ドローン学習



プログラミングで飛ばすドローン



2年生 レゴブロックで動くロボット

惨い（むごい）教育

戦国武将であった今川義元が、当時人質であった徳川家康（当時は竹千代）の養育にあたり家臣に命じた教育に「むごい教育」がありました。そんなエピソードをご存じのかたもみえるかもしれませんが、次のようなものだと言われています。（原文どおりではありません）

戦国時代、駿河国（今の静岡県）を治めていた今川義元は、あるとき、隣国の徳川氏の嫡男、竹千代（のちの 徳川家康）を人質にとりました。その時、義元は家来に「竹千代に『むごい教育』をせよ。」と命じました。家来たちは君主より「『むごい教育』と聞いて、早朝から武芸に励ませるなど、大変厳しく指導したのです。数日して、義元は、竹千代の養育係を呼んで尋ねました。『むごい教育』をしているか？」すると、養育係は「はい、『むごい教育』をしています。朝起きるときからすべて駆け足で行動させています。三食は粗食しか与えず、あらゆる鍛錬に励ませ、空いた時間には学問させるなど自由な時間はございません。」と報告しました。これを聞いていた義元は、語気を荒げて「それは『むごい教育』とは言わん」と怒りました。「これからは、竹千代には、贅沢な食事を与え、朝から晩まで美味しいものを好きなだけ食べさせよ。寝たいと言ったらいつでもいくらでも寝かせてやり、休みたいと言ったら休ませよ。夏は暑くないように涼しくしてやり、冬は寒くなく暖かくしてやれ。武術や学問が嫌だというなら、無理にやらせるな。本人の望む通りに、何でも与えてやり、好きなことを好きなだけさせて、どんなわがままでも聞いてやれ。」そしてこう続けたそうです。「そうすれば大概の人間は駄目になる。」

現代は、戦国時代と違い高い自由度が保証されています。好きな仕事に就くこともでき、高度な医療に守られ、社会を自分で変えていく権利も手に入れています。その分、これからの社会を生きる子どもたちには、自分を律する心や責任ある行動が求められ、他者を理解しようとする心、慈しむ心が大切にされています。それは、日々の学校生活において考えれば、きまりごとや時間を守る、挨拶ができるといったことから始まり、自分の考えをもち、伝え、よりよい考えに変容させ、仲間と共に行動できることを経る中で、我慢することや感謝する心を養っていくことだと思います。

学校では今、新学年への進級を目指し成果や課題をまとめる時期です。新しい年を迎え今年度も残り3か月となった今、改めて、今年度やり残したことは何かを考えながら、一人ひとりのお子様に適した方法を、家庭と学校が協力して考え、取り組んでいきたいと思っています。

★1月の予定は「行事・下校時刻一覧表」でご確認ください。

2月の主な行事予定

4日（水）クラブ（最終）
5日（木）なかよし遊び

17日（火）授業参観・学級懇談会

お知らせ

- 12月12日より田口雅大先生（講師）が中小学校に赴任しました。
- F C 岐阜及び日本水機工（株）よりサッカーボールが寄贈されました。委員会の準備が整い次第、体育などで子どもたちが使えるようにしていきます。
- 4年生の子を中心に、ボランティアで手伝ってくれた子の力を借りて、花壇に花を植えました。

